

## ごあいさつ

本日は、アートロード《東海ステーションギャラリー展》にご来場頂きまして誠にありがとうございました。1988年に発足致しましたアートロード展は、今年で30回目を迎えることができました。

発足当初は、美術連盟の有志45名、協賛店14店舗でスタート致しましたが、1992年の第4回展からは書及び写真部門が、2010年からは華道及び工芸部門が、さらに、2016年からは美術連盟の彫刻支部の有志が参加し、現在は会員100名、協賛店30店舗で活動致しております。

30年間、一度も中止することなく継続出来ました事は、参加協賛店さん、東海村行政、東海村教育委員会、東海村文化・スポーツ振興財団等のご理解とご協力の賜物と共に、会員ひとりひとりの日々の努力と熱意があったからこそその成果です。この機会に改めまして感謝申し上げる次第です。

ここで、《アートロード展》とはどういうものか簡単に説明させていただきます。本来、美術作品は美術館やギャラリー等展示会場に出向いて見るものですが、我々はそういう方法にとらわれず、私たちが住んでいる東海村の街並みを展示会場に見立てて、村民の皆様が日頃利用している商店街の理容店、喫茶店、レストラン、食事処、住宅展示場、金融機関、役場あるいは原子力施設等のロビーや空いた壁面に、会員が制作した絵画、書、写真、彫刻、華道、工芸作品を一定期間展示し、買い物等でたまたま訪れました折にそれらの作品に出合い、『ホッ』とするひとときを味わって頂ければ幸いという発想にあります。つまり、『暮らしの中の美術館』をテーマに、芸術文化の街“Art Road”づくりを目指して、年に一度の展示活動をしております。

この《東海ステーションギャラリー展》はアートロード展の発信基地として2月17日まで、また、各協賛店では4月末日まで展示しておりますので、詳細はパンフレットをご参考の上合わせて是非ご覧頂ければと思います。

アートロード展は、アートロード実行委員会に会員または協賛店として登録して頂ければどなたでも自由に参加できます。随時募集をしておりますので、ご希望の方は事務局あるいはお近くの会員に是非ご連絡くださいますようお願いしております。

2018年 第30回アートロード展にて

東海村アートロード実行委員会 委員長 堀川 豊彦  
事務局長 塙 千恵子